

## JAを知ろう! 小学生社会見学



▲やさふれあい市場三原店の店内を見学する児童

三原市立三原小学校2年生76人は11月8日、社会見学で三原市のJAビルを訪れました。

JA職員が仕事内容や同市で栽培される農産物などを説明。児童は毎日食べる野菜や果物などを栽培する農家を支えることで人々の食を守るJAの役割を学び、真剣な表情でメモを取りました。

JA産直市やさふれあい市場三原店と三原アグリセンターでは、管内で生産された様々な種類の農畜産物や肥料農薬、生活用品などが並び店内を見学。児童らは分からないことなど積極的に質問し、販売の現場を学びました。

## 特産「広島わけぎ」消費拡大へ 魅力引き出す新レシピ開発



JAひろしま三原わけぎ部会とJA尾道市わけぎ部会は特産「広島わけぎ」のPRとして三菱食品(株)やキッコーマン食品(株)、JA全農ひろしまと協力して7品のレシピを開発しました。

尾道市で11月19日、新レシピの試食会を開き、JAや行政、生産者など約40人が参加。生産者を中心にわけぎの素材の良さが活かしているか、手軽に時短で作れるかなど出席者と意見を交換し、好みのレシピに投票しました。選ばれたレシピ「わけぎとひき肉のサラダ」は炒めるだけで簡単に調理でき、



▲新レシピの試食をしながら意見を交換する生産者

わけぎのシャキシャキとした食感が楽しめます。

同レシピは2025年2月から県内一部食品スーパーの店頭POPにて展開。併せて生産者出演の動画を放映することで「広島わけぎ」の消費拡大を目指します。

## ナス生産拡大に期待 農業塾閉講



三原地域営農経済センターは11月25日、「なす農業塾」の閉講式を開きました。生産販売を目指して栽培を学ぶ農家7人が出席。扇谷大樹営農指導員が今までの農業塾を振り返りながら生育状況や栽培管理を説明しました。

同塾は、ナス栽培に挑戦したい人や市場出荷・共同販売を目指す人を対象に生産者の育成や担い手確保、特産ナス「三原の美々なす」のブランド維持を目的に新たに企画。受講者は、座学や圃場実習を通して定植や整枝、収穫など作業時期に合わせて栽培を基礎から学



▲圃場実習を通してナスの栽培を学ぶ受講者

びました。扇谷営農指導員は「生産者の知識習得と技術向上に向けて取り組み、出荷者の育成につなげたい。生産拡大を目指し、今後も農業塾を計画する」と話しました。

## 環境負荷軽減へ 農業用廃資材回収



三原地域営農経済センターは11月18〜21日、三原市と竹原市の10カ所で農業用廃資材の回収を行いました。今年は去年並みの約



▲回収された農業用廃資材

22.5tを回収。SDGsの取り組みのひとつである農業生産における環境負荷軽減につながります。農業用廃資材は産業廃棄物に指定されており、農業者自らの責任で適正に処理する事が義務づけられています。今年も早朝から廃資材を積んだトラックが次々と乗り入れ、農業用ビニールや肥料袋、農業空容器などが持ち込まれました。

同センターの林康輝センター長は「今後も回収を行ない、農家の負担軽減に協力したい。JAとして適正な処理と資源循環への取り組みを進める」と話しました。

# なるほどえ〜のう！ 営農情報

あけましておめでとうございます。  
読者のみなさまと栽培している  
農作物にとりまして本年が幸多き年で  
ありますよう祈念申し上げます。

## 水稲

### 水田畦畔の雑草管理

水田畦畔などの雑草管理は、生産者にとって大きな負担になっているかと思えます。特に高低差が大きい所では雑草管理にかかる労力は大きくなります。

雑草は、放置しておくとかメムシ類などの温床になるので、適切に管理する必要があります。

雑草管理の方法は、様々ありますが、抑制を目的とした除草剤や資材をご紹介します。

### 除草剤

#### 秋冬～春(雑草発生前～発生始期)

吸収移行性の土壌処理剤で、雑草の発生を長期間抑えます。  
一年生雑草のほか防除困難なヨモギ、ギンギンシ、ヤブガラシ、スギナなどの多年生雑草にも高い効果を示します。

水のいらぬ粒剤なので、簡単に散布できます。



**カソロン粒剤6.7**

水田畦畔：6kg/10a  
非農耕地など：  
10~15kg/10a  
均一に散布してください

**初夏**  
これから発生する雑草を長期間抑えて、一部枯死させます。  
畦畔、農道、水路などの法面の草刈り作業の回数や労力を軽減できます。  
ザクサ液剤またはバスタ液剤とダイロンゾルを混用散布することで、除草効果と抑草効果の両方を発揮できます。



**ダイロンゾル**

水田畦畔：250ml/10a (400倍)  
雑草発生前～生育初期 (収穫30日前まで)

**雑草抑制おまかせネット**  
ポリエチレン製の防草ネットで雑草を上から押さえ、草刈作業を無くせます。風を通すので捲れにくく、ネットの下で雑草が生えているため、畦畔が崩れにくいという利点があります。詳しくはお近くのアグリセンターにお問い合わせください。

## 落葉果樹

### 整枝・せん定

先月に引き続き、整枝・せん定を行います。以下の内容を参考に進めてください。

- ①整枝・せん定の目的
  - ・枝や葉の成長と果実の成る数を調整し毎年収量を上げられるようにする。
  - ・樹全体に光があたるように枝を配置して品質の揃った果実を生産する。
  - ・薬剤散布や収穫・摘果などの作業性を良くする。
- ②品目ごとの結果習性
  - ・果樹の結果習性とは、どの枝に果実をつけるかということです。新梢に果実をつけるものと前年枝につけるものと分けられます。
  - ・結果枝タイプ：昨年伸びた枝に花芽をつけ開花結実する。
  - ・モモ、ナシ、ウメ、リンゴなど。
  - ・結果母枝タイプ：今年発生する枝に開花結実する。
  - ・ブドウ、カキ、イチジク、キウイフルーツなど。
- ③樹を構成する枝の名称
  - ・主幹：地際の土台となっている幹部分。
  - ・主枝：主幹から発生する幹について太い骨組みとなる枝で、2〜3本とする。
  - ・亜主枝：主幹から分岐した枝。主枝と並んで骨組みとなる枝で、一つの主枝に2〜3本とする。
  - ・側枝：主枝や亜主枝から発生し結

- 果母枝や結果枝をつける。側枝は3年くらいを目途に更新する。
- ④樹形・樹姿
  - ・基本的な樹形：主枝が3本の開心自然形または2本の双幹形
  - ・ブドウ：長梢せん定仕立て(X型自然形整枝)、短梢せん定仕立て(平行型整枝)
- ⑤枝の切り方
  - ・切り返し：昨年伸びた枝を途中で切る方法。先端部を強く伸ばして骨格となる枝(主枝や亜主枝)を育てる(樹冠拡大を図る)場合、結果枝や側枝の先端を弱らせない場合、先端が垂れた枝の勢力を回復したい場合などに行なう。
  - ・間引き：不必要な枝を除去するときの切り方。せん定したい枝の発生位置(分岐部分)まで戻って切り、新たに枝が出ないようにする。込み合った枝や重なった枝を除去する場合や、残したい枝と太さが競合する枝を除去する場合などに行なう。
- ⑥せん定の順序
  - ・基本的には主枝→亜主枝→側枝の順に処理する。主枝背面や亜主枝の分岐点近くに発生した強勢な枝は除去する。主枝、亜主枝の先端は一本にして切り返す。側枝は亜主枝よりも強くしないように整理する。せん定後、切り口の処置にはトップジンMペーストなどの癒合剤を塗布し、枯れこみなどを防ぐ。
  - ・せん定で除去する枝の例：平行枝・車枝・逆向枝・交差枝・下垂枝・徒長枝など
- ⑦せん定鋸、鋸について
  - ・自分の手にあったせん定鋸や鋸を使用する。

## 柑橘

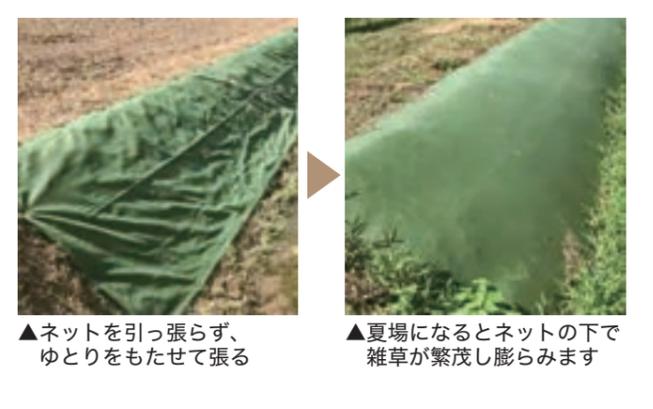
1月は寒さが厳しくなってきました。越冬果実は防寒を徹底するとともに、基準に達した果実は速やかに収穫してください。  
これからの時期は春に向けての重要な準備期間です。まずはナシマルカ

水稲に関する情報をお届けします！

LINE

メール配信サービス





**おすすめのせん定資材**



フロせん定シルバー！フッ素コーティングがはつきりしやすい。



太枝切り鋸…やや太い枝を切る時やせん定した枝を片付ける時に処分しやすいよう細かくするために使用できる。

## 家庭菜園

年が明けて春がひときわ待ち遠しく感じられます。まだまだ寒い日が続きますので、体調を整え美りの多い1年にしましょう。

**肥料について**  
作物は土から根を通じて養分を吸収します。しかし、土の中の養分には限りがあるので、肥料を使って土に養分を補う必要があります。肥料をどのように使うかは作物の生育を左右する重要なポイントになります。肥料にはいろいろ種類がありますが、大きく分類すると「有機肥料」と「化学肥料」に分けられます。

**有機肥料**  
有機肥料は油粕などの植物性や鶏糞・力キ殻などの動物性の有機物を原料

料とした肥料です。有機肥料は土の中の微生物の働きで分解されることで、吸収できる養分に変わるため一般的には即効性はなく、養分の含有量も高くはありませんが、効果は長く続きます。また、微生物で分解されなかった有機物は団粒構造の形成に寄与しますが、成分量が化学肥料ほどはつきりしておらず成分量当たりの単価も高くなります。

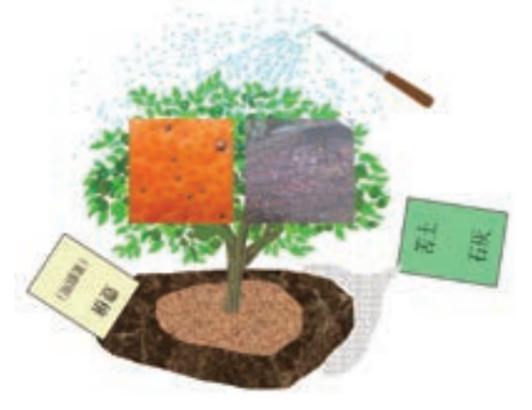
**化学肥料**  
化学肥料は鉱石や空気中の窒素力スなど、自然界に存在する無機物を原料とした肥料です。化学肥料は含まれる成分量にむらがなく、水に溶け込むことですぐに吸収できる養分に変わるため、即効性が高い反面、効果が続く期間は短いのが特徴です。また、化学肥料には土壌改良(土づくり)の効果はなく、施肥量が過剰になると根が傷む肥料やけを起こしたり、使い続けると土の中の有機物が減少し硬く締まった土になってしまいます。(JAひろしま12月号参照)

有機肥料化学肥料と聞くと生物由来の物が原料の有機肥料のほうがいいと思いがちですが、それぞれ性質が異なるのでどちらがいいと一概にはいえません。例えば、効果が長く続き土壌改良にも寄与する有機肥料は基礎肥に、生育中の農産物に早急な効果を得るために化学肥料は追肥に使うなどそれぞれの特徴を理解して上手に使い分けましょう。



イガラムシの対策です。今は越冬していませんが春から初夏にかけて次世代が発生していきます。樹上で動かない今が重要な防除時期となります。薬剤は機械油乳剤95を30倍で散布してください。枝や葉裏などで越冬してしまします。枝や葉裏などに越冬してしまします。散布時に樹勢回復のため尿素200倍を混用しましょう。

もう一つが土づくりで堆肥と石灰質資材の投入です。堆肥は土壌の腐植を増加させ保水性・保水性・通気性を良好にします。10a当たり2t以上の堆肥を投入して肥えた土壌を作りましょう。石灰質資材は「苦土石灰」や「マリンカル」を投入することで土壌の酸性化を防止します。土壌のpHを適正にして根が養分を吸収しやすい環境をつくります。農作物の重要な土台でもある土を良好・適正にしていけるのもこの時期の重要な作業となります。



▶ Information お知らせ

# ふれあいまつり

三原支店駐車場で11月16日、「ふれあいまつり」を開催し、多くの来場者で賑わいました！会場では管内産ミカン・ナスの詰め放題や農機具の展示販売、輪投げやお菓子釣りなど子どもから大人まで楽しめる数々のブースを設置し、組合員や地域住民との交流を深めました♪ご来場いただきありがとうございました。



## 2月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
三原	三原						三原	三原		三原			年金相談会	三原	三原						三原	三原	三原				
三原西	三原西						三原西	三原西		三原西			本郷中央支店	三原西	三原西						三原西	三原西	三原西				
本郷	本郷						本郷	本郷		本郷				本郷	本郷						本郷	本郷	本郷				
久井	久井						久井	久井		久井				久井	久井						久井	久井	久井				
	鷺浦							鷺浦		鷺浦					鷺浦							鷺浦	鷺浦				
せとだ	せとだ						せとだ	せとだ		せとだ				せとだ	せとだ						せとだ	せとだ	せとだ				
竹原	竹原						竹原	竹原		竹原				竹原	竹原						竹原	竹原	竹原				